



キイトルーダ+インライタの治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

お薬の名前	1日目	2～21日目
キイトルーダ (ペムブロリズマブ)	 30分	お休み
インライタ (アキシチニブ)	3週間	
	 毎日内服	

★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

甲状腺機能低下

甲状腺の働きが低下することがあります。甲状腺の働きが低下すると、元気が出ない、疲れやすい、声がかすれる、肌の乾燥といった症状が現れることがあります。そのため、定期的に血液検査を行い、甲状腺の働きを確認します。

肝機能障害

肝臓の働きが低下することがあります。そのため、定期的に血液検査を行い、肝臓の働きを確認します。

タンパク尿

尿にタンパクが出るがあります。そのため、定期的に尿を検査し、尿の中のタンパクの有無を調べます。

〈ご自身でわかる副作用〉

倦怠感

治療が継続することで徐々に出てくることもあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。⇒無理に動こうとせず、安静にして様子を見て下さい。

高血圧

血圧が上がるがあります。血圧が高いと頭痛をともなうことがあるので、場合によっては、血圧を下げる薬を使うことがあります。

⇒血圧は、毎日決まった時間に測定し、記録をつけていきましょう。

出血

鼻や歯肉、膣などの粘膜から出血することがあります。また、患部から出血することもあります。10～15分たっても血が止まらない場合は病院へ連絡して下さい。

手足症候群

手のひらや足の裏が赤くはれたり、ヒリヒリ・チクチクすることがあります。症状が強くなると、皮膚のひび割れや水ぶくれなど日常生活に支障をきたすおそれがあります。休薬が必要な場合もあるので、痛みが強い場合には、病院へ連絡して下さい。

⇒こまめに保湿剤を使って皮膚が乾燥しないように心がけましょう。

創傷治癒遅延（傷が治りにくい）

嘔声（声がかすれる）



★すぐに連絡をいただきたい副作用

- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎）
- ★「激しい口渇」、「多尿」、「尋常ではない倦怠感」、「悪心・嘔吐・腹痛」が見られた場合は、病院への連絡が必要です。（糖尿病）
- ★「血便」、「黒色便」、「腹痛を伴う下痢」が見られた場合は病院への連絡が必要です。（大腸炎）
- ★「胸の痛み」、「息苦しくなる」、「片方の足の急激な痛みや腫れ」（血栓・塞栓症）

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。

●緊急連絡先●

横須賀共済病院（代表）：046-822-2710

月～金曜日の8：30～17：15は「治療を受けた診療科」
それ以外の曜日、時間帯は「急患室」にご連絡ください。